



なかつ こころ

4年 | 中田 心 さん [鳥取県立鳥取商業高等学校 出身]

■ “鳥取”を学んで魅力を発信したい!

私は鳥取生まれの鳥取育ち。家族と県内の様々なスポットを巡り、鳥取は魅力的な所だと思って育ったのに、周囲の人は「鳥取は何もない。つまらない」と言う。そんな言葉にいつも不満を感じていました。そんな思いを知ってか、進路に悩む私に担任の先生が鳥大の資料を渡してくれました。読んでみると、学科のアドミッションポリシーや講義内容は私がやりたいことそのものだったんです。自分の意欲を示せるAO入試での受験を決意。夏休み中も毎日登校、入学志願票の作成、2次選考の準備と夜遅くまで必死に頑張りました。面接練習はいろんな先生と。質問に追い込まれ泣いたことも。厳しい指導でしたが、試験当日は温かく送り出してくれました。

■ 準備は万全に、本番は自分を信じて堂々と

部活動も習い事もやっていなかったので「自己表現」で何を行うか悩みましたが、英語スピーチコンテスト出場の経験を生かして、鳥取在住の外国人にアンケート調査を行い、集計結果を英語でプレゼンすることに。準備はAO受験を決めた直後から開始。何をやるにしても、1次選考の結果を待ってからでは間に合わないと思います。書道パフォーマンス・神楽・中国語スピーチと他の人もすごいアピール力でしたが、自信を持って臨みました。「課題論文」の練習はとにかく数をこなして。2次選考の個人面接で問われる英語での質問は、ALTの先生を相手に練習。基本的な質問に答えられるような対策は必須ですよ。

■ AO入試で求める人物像

募集人員(予定) : 4人

【趣旨】 様々な地域の文化(言語・文学・歴史など)の特性を深く理解しつつ、地域文化の継承・発展に寄与できる人や、国際的な視野をもって活躍できる人の育成を目標としています。このため、これらの領域における意欲、資質、能力を多様な観点から総合的に評価するAO入試を実施します。

次のいずれかに該当する意欲ある人を求めます。

- 地域固有の文化・伝統に関心があり、その文化資源の継承、発展を地域の人々とともに進めたいと思う人
- 国際的・実践的なコミュニケーションの力を身につけ、広く社会に貢献したいと思う人

鳥取のお気に入り

夏は日本海ビーチで海水浴を

「因幡の白うさぎ」伝説で有名な白兎海岸、美しい景勝の浦富海岸など、鳥取の海は透明度が高く海水浴に最適! 岩美町の牧谷や大谷海岸は穴場。プライベートビーチみたいです。

平成26年度AO入試第2次選考<選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成26年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

平成27年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

全体を通して求める力

文化、地域、国際交流など地域と文化に関する分野に関心があって、他者の話によく耳を傾けて理解しようとす姿勢や深く考えを掘り下げる姿勢、それらをわかりやすく表現する力を求めます。

自己表現	「自己の知識や経験等」に関する自己アピールを、1人あたり15分で行いました。
課題論文	「近代化と人の幸福の関係」に関する2種類の資料(A4版で3枚)を読み、90分で1問の設問に答えるものでした。設問の内容は、800~1200字で自身の考えを記述するものでした。
グループディスカッション	1グループ8名で、「真のグローバル人材とは何か」をテーマとした、210分のグループディスカッションを行いました。初めに4種類の資料(A4版で3枚半程度)を60分読んだ後、150分のディスカッションを行いました。なお、進行については、教員が行いました。
個人面接	3名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。